

2023年12月3日  
発行/日本共産党市議団地域版  
自宅/市川市須和田2-12-3  
fax 047-303-3025  
携帯 090-6310-3294  
メールアドレス  
shimizu@jcp-ichikawa.com  
ブログ・清水みな子を検索



日本共産党市川市議会議員

清水みな子

あおぞらメール

No.158

# 県は国保運営の統一化めざす ますます払えない国保税に



千葉県は国民健康保険運営方針のパブリックコメント（千葉県健康福祉部保険指導課国保運営班宛て、12月23日まで）を行っています。「市川国保をよくする会」は、11月15日（行徳）、17日（市川）で、学習報告会をおこない、今後、どのように運動をすすめていくか、パブリックコメントを提出することなどを話し合いました。

「よくする会」は「国保税を上げないで」という署名を2800筆以上集め、議会に提出しましたが、9月議会で「値上げ条例」が可決され、市川市では来年度、9年ぶりの値上げとなります。

全国で506自治体が値上げ

全国の市町村数173

6自治体のうち、約3割の506自治体で値上げとなること、日本共産党政策委員会の調査でわかりました。

値下げをしている自治体は111ありました。

東日本大震災で被害を受けた岩手県陸前高田市は、今年度、物価高騰を踏まえ、国保税の「均等割」部分を1人年最大1万3千円減額しました。「均等割」は世帯人数に

に応じて増えるため「人头税」とも呼ばれるもので、同市は、18歳までの「均等割」ゼロ（全額免除）も実施しています。

逆に、大阪府は9割を超える自治体で値上げし、「保険料水準の統一化」を全国に先駆けて進めています。千葉県でも、

「国保運営の都道府県化」を図ることも、方針のひとつです。

法定外繰入の解消が目標

これまで行ってきた市町村の一般会計からの法定外繰入を令和12年までに解消することも新規方針のひとつです。2010年（平成22年）度は33市町村が167億円の繰入を行っていましたが、政府からの圧力もあり、22年（令和4年）度は、9市町村で35億円まで、少なくなりました。市川市はまだ繰入を行っていますが、徐々に削減する方向です。

また、保険料収納率は全国46位で、91.69%ということで、目標収納率を決め、効果的な収納対策を実施するとしています。

県社保協が要請

11月20日、県社保協は、高すぎる国保税を引き下げ、安心して医療にかかれるよう国民健康保険制度の改善を求め、県知事

あての要請書を提出し、県保険指導課と懇談しました。

【要望項目】

1、「公費1兆円の投入」実現のために、国に対し、積極的な取り組みを

2、国保は社会保障であり、公費で支える制度。市町村の判断で「繰入」ができること

3、広域化が市町村国保や被保険者の負担にならないよう、県の一般会計からの繰入を

4、高すぎる国保税が暮らしと健康を脅かしている実態を踏まえ、安心して医療が受けられるよう、市町村に助言、支援を

5、国保運営方針

・ 県単位の保険料水準の統一を求めないこと

・ 法定外繰入を継続、充実させること

・ 法定外繰入のマイナス評価はやめること

6、国に対して

・ 現行の健康保険証を存続すること

・ 均等割額の減免を早期に実現すること

・ 応能負担の制度とするため、均等割、平等割は廃止すること



# 要望が実現しました

## 市川駅北口に時計塔



市川駅北口のみずほ銀行ビルから時計がなくなっ  
てから、ずいぶん立ち  
ますが、「市川駅北口に  
時計がほしい」と、「市  
民アンケート」でも、駅  
利用者からもたくさん  
の要望がありました。地域  
支部は、何度も市に要望  
してきました。この度、  
市川ロータリークラブ様

からの寄付により、北口  
に設置されました。

## 中国分の電柱撤去



商大附属高校前の電柱  
が撤去されました。高校  
の建て替えに伴い、セッ  
トバックされ、歩道が広  
くなりました。それに伴  
い電柱が残ってしまい、  
車が回るのに不便だとい  
う声を聞き要望してきま  
した。

## 中国分小前の凸凹 道路が改善

「中国分小学校前の道  
路が凸凹していて、高齢  
者が転んでケガをした」  
「孫が転んだ。整備して  
ほしい」と住民から訴え  
があり、道路安全課に連  
絡して、凸凹を改善して



もらいました。住民の方  
から喜ばれました。  
※じゅんさい池緑地の壊  
れたベンチも新しくなり  
ました。

## 公的扶助研究全国セミナー

11月11～12日、生活保護などの公的扶助研究全国セミナーが長野県で開かれ、参加しました。

11日午前中は、分散会「生活保護裁判」を学習。午後は分科会「女性の貧困」で、農村地域の女性を取材する佐久大学の教授の話を中心に討論。12日午前中は、記念講演「いのちのとりで裁判とナショナルミニマム」と題して、尾藤弁護士のお話。その後、生活保護を受けている方の悩み、高校まで生活保護を受けながら頑張っ  
て大学進学した若い女性、生活保護の相談を受けているケースワーカーの方などが、実体験を報告しました。身につまされるものばかりで、国に改善を求め



ていくものがほとんど。全国でスクラムを組んで、改善要求をしていくことが必要だと感じました。充実した2日間でした。

## 無料法律相談

◎12月12日(火)  
担当 米山和希弁護士  
◎1月16日(火)  
弁護士は未定です  
午後2時から5時まで  
相談時間はひとり30分。  
予約は清水又は控室まで

## 《主な活動報告 11月》

### ☆11月3日 市川まつりで90周年に向けたロゴマークを発表

雲ひとつない青空の下、「市民まつり」が開催されました。大洲防災公園や道の駅などをめぐるバスも運行。市民は一日楽しみまし



た。来年の11月3日が市政90周年を迎えます。ロゴマークもお披露目されました。

### ☆11月4日 市後援会主催「牧野記念庭園」へ

市後援会では、4年ぶりとなるイベントを開催。朝ドラ「らんまん」で有名になった、牧野記念庭園を散策し、石神井公園でお昼というコースを楽しみました。



参加者で記念撮影

### ☆11月25日 救援会支部大会で学習

救援会支部大会が開かれました。第1部は、「100問100答」を使って、「のびのびと選挙をたたかう心得」を救援会県本部の鷺尾会長を講師に学びました。「職務質問をされた時の対応は」「マンションへのピラ配布の際の注意事項」など、質問も出されました。第2部は、支部大会の提案と討議。私は次期も支部長を引き受けました。